

つやまっ子に贈る100冊の本



つやまっ子読書プランキャラクター「ぶっくちゃん」

すばらしい日本人がいたことを知ってほしい



推薦者
朝田 郁子さん(勝部)

第二次世界大戦時、リトアニアのカウナス領事館に赴任していた外交官・杉原千畝は、外務省の命令に背いてまで、ナチス政権下のドイツによる迫害を受けていたおよそ6千人のユダヤ人を救うため、大量の通過ビザを発給しました。

この本を読むまで、わたしは杉原千畝という人物をまったく知りませんでした。皆が「戦争」という方向を向いていたあの時代に、我が身の危険を顧みず、人々を救うために決断・行動した姿にとっても感動しました。

ソ連政府や本国からの再三の退去命令を受けながら、ベルリン行き列車の出発直前ま

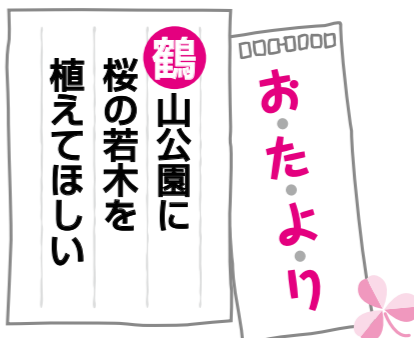
で通過ビザを書き続けた千畝の腕は大きくはれあがったそうです。

今は「自分さえ良ければそれでいい」と自己中心的な考え方をする人が多いように思います。人を思いやり、人のために一生懸命行動したすばらしい日本人がいたことを子どもたちに知ってもらいたいですね。

この本は、千畝の妻と長男が子どもたちに向けて書いた児童書なので、とても読みやすいです。わたしも上の子どもたちと一緒に読み、感動を共有することができました。ぜひ親子で読んでみてください。



「杉原千畝物語 命のビザをありがとう」
杉原幸子・杉原弘樹著
(金の星社)



鶴山公園に
桜の若木を
植えてほしい

おたより

鶴山公園の桜の木が古くなり、痛々しい姿。早く若木を植えてほしい。(西寺町・女性)

鶴山公園の桜は、植樹から60〜80年が経過しており、老木化とてんぐ巣病などの被害を受け、樹木の維持管理に大変苦慮しています。

鶴山公園は、津山城跡として国指定史跡に指定され、また「日本さくら名所100選」にもなっており、津山市の文化・観光面で大変貴重な財産

問い合わせ先 公園緑地課
☎32・2097



今後の計画では、景観を損ねている東側斜面の風倒木などの伐採撤去を始め、城内石垣の支障となっている樹木の伐採撤去、腐朽が進んでいる桜の木伐採と補植など、年次計画で進めていくことになっていきます。特に桜については、今後、公園全体で150本程度植樹していきます。

また、津山市観光協会には市民有志からの寄付もあり、この寄付金を「桜基金」とし、公園正面入り口までの沿道に、約30本の桜を植樹するとしていきます。

皆さんのふるさと津山を思う気持ちを大切に、復元整備を進めていきます。

です。このため、鶴山公園全体の史跡保護と桜などの景観復元に、向こう10カ年計画で取り組むこととし、今年度から本格的な復元整備に着手しています。

今後の計画では、景観を損ねている東側斜面の風倒木などの伐採撤去を始め、城内石垣の支障となっている樹木の伐採撤去、腐朽が進んでいる桜の木伐採と補植など、年次計画で進めていくことになっていきます。特に桜については、今後、公園全体で150本程度植樹していきます。

また、津山市観光協会には市民有志からの寄付もあり、この寄付金を「桜基金」とし、公園正面入り口までの沿道に、約30本の桜を植樹するとしていきます。

きらめく津山人

地域を知って、地域を愛してほしい

高倉公民館活動推進協議会 会長

東原 英一さん(下高倉西)



文部科学省から平成22年度優良公民館として表彰を受けた高倉公民館。その中心として、次世代への歴史・文化の伝承など、地域の活性化に取り組む高倉公民館活動推進協議会の東原さんにお話を伺いました。

活動を始めたきっかけは？

若いころは地元を離れ生活していました。高倉に帰郷したのが13年ほど前。地元の町内会長を引き受けて9年目になります。町内会長になって地元を見渡すと、高倉地区もほかの地区と同じく少子高齢化が進んでいてお年寄りがたくさんいます。で

も、そのお年寄りが元気なんですね。そこで、そんな人たちに協力してもらったら何かできないか、高倉地区を盛り上げていけないだろうか、と思ったのが始まりです。

高倉地区には4つの町内会があります。協議会には町内会長を始め、婦人会や愛育委員など地域で活動している多くの団体に参画してもらっています。年齢層も広いので、さまざまな意見が出ます。地域と公民館が協力し合うことでいろいろな知恵やアイデアが生まれてくるんですよ。「高倉の歴史かるた取り大会」や「歴史探訪健康づくりウォークラリー」などもそういった活動の中で生まれました。

自分が生まれ育った地域の歴史や文化を知ることが郷土愛も生まれると思います。江戸時代、元禄一揆で農民のために尽力した堀内三郎右衛門や農民が主体となって築造した近平用水など、

先人の偉業と心意気を若い世代に語り継いでいくことはわたしたちの大切な仕事だと思っています。



▲歴史探訪健康づくりウォークラリー

地域づくりのコツは？

自分の考えや思いを地域の皆さんとひざをつき合わせて話し合うことが大切だと思います。実は地域の中にはさまざまな経験や特技、思いを持った人材がたくさんおられます。そういった人材を掘り起こすことも大事だと思います。今後はどのような活動をしていきたいですか？

これを続けていくのはもちろん、今後は若い人に高倉地区に住んでもらえるまちづくりを地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

笑顔で地域に対する深い思いを語る東原さん。さまざまな取り組みの中で生まれる絆や郷土愛が広がって、地域が盛り上がると思います。

津山洋学資料館

日本建築家協会中国支部 中国建築大賞受賞



中国地方5県の建造物を対象に優れた建築作品を顕彰する「第2回JIA中国建築大賞2010」が発表され、津山洋学資料館が一般建築部門で大賞に選ばれました。

津山洋学資料館は、明治期の洋館の雰囲気を感じさせる板張りやレンガ造り風で、旧出雲街道の町並みと調和が取れた外観となっています。また、装飾は幕末から明治期を思わせ、日本の洋学史に大輪の花を咲かせた先人たちを紹介するにふさわしい施設となっています。

設計者は市政アドバイザーでもある建築家の富田玲子さんです。